

【政務活動報告書（県内）】

| 年月日 | 活動先 | | | 政務活動の内容 | 関連領収書 番号 |
|------------------|-------------------|----------------------------|---------------------------|---|--------------|
| | 住所 | 活動先の名称 | 対応者 | | |
| 2017 4月13日 | 鳥取市湖山町南 4-101 | 鳥取大学 地域学部 | 野田邦弘教授 | 県立美術館構想に関する 意見交換のため | 4009 |
| 2017 4月23日 | 日南町下石見 575 | 永福寺 | 米積考賢住職 | 経済学者「宇沢弘文氏」の思想の原点 を探り県政の理念に反映させるため | 4017 |
| 2017 6月18日 | 鳥取市太平線 | 鳥取駅前 バードハット | ALS鳥取支部 岡本充雄支部長 | 世界ALSデーに因んだ普及啓発事業 に参加するため | 6011 |
| 2017 7月25日 | 鳥取市栄町 658-3 | ギャラリーそら | 芸術家 高橋康晃氏 | エアブラシと書道による日中芸術交流 事業に参加するため | 7021 |
| 2017 8月19日 | 鳥取市栄町 401 | カフェソース バンケット | いなばふるさとP 渡辺昌子代表 | まちおこしで製作の映画上映とトーク 会に参加し、地域づくりを考えるため | 8008 |
| 2017 10月29日 | 鳥取市末広温泉 町401 | アフターアワーズ | ジャズピアニスト 菊池ひみこ氏 | JAZZのルーツを学び、鳥取での 文化形成と地域づくりを考えるため。 | 1016 |
| 2017 11月10日 | 鳥取県智頭町 大屋407 | まるたんぼう 新田サドベリーS | 西村佐栄子氏 長谷洋介氏 | 森のようちえんとサドベリースクール を調査し、幼児初等教育を考えるため。 | 1106 |
| 2017 11月29日 | 今町2-153 東品治102 | ホテルニューオータニ鳥取 鳥取ワシントンホテル | 私立学校関係者 山西敏博氏 | 私立学校との意見交換のため。 鳥取倫理法人会講演参加のため。 | 1112 |
| 2018 1月12日 | 米子市末広町 293 | 米子市文化ホール | 立命館大学 教授 ラウパッハ・スミヤ・ヨウ氏 | エネルギーの地産地消による地方創生 シンポジウム出席のため | 0103 |
| 2018 1月4日 | 鳥取市今町 2-153 | ホテルニューオータニ鳥取 | 深澤義彦市長 | 鳥取市民合同祝賀会に参加し、各界の 参加者と情報交換するため。 | 0107 |
| 2018 1月5日 | 鳥取市今町 2-153 | ホテルニューオータニ鳥取 | 藤縄匡伸会長 | 鳥取商工会議所新年祝賀会に参加し、 各界の参加者と情報交換するため。 | 0107 |
| 2018 1月31日 | 八頭町見槻中 154 | 旧隼小学校 | 古田琢也代表 | 旧隼小を活用した隼ラボの手法と人 材、今後の展開を学ぶため。 | 0113 |
| 2018 2月5日 | 鳥取市弥生町 323-1 | ぱれっと鳥取 市民交流ホール | 三ツ国 全代 氏 | チョコレートルーツや健康増進効果 等を学び、多方面で生かすため。 | 0204 |
| 2018 2月20日 | 米子市尾高 2377 | シャトーおだか | 実行委副会長 足立敏雄氏 | 大山開山1300年祭の取り組みについて 学び、意見交換するため | 0209 0215 |
| 2018 3月22・24日 | 鳥取市栄町 658-3 | ギャラリーそら | 高橋康晃氏 | 障がいの有無に関わらず250人が出展 したウマモナド展視察と意見交換 | 0315 |
| 2018 3月24日 | 鳥取市末広温泉 160 3F | 公立鳥取環境大学 まちなかキャンパス | 足利裕人教授 多賀利寛氏 | 鳥取天文協会の多賀会長を交え、今後 の星取県の展開を協議するため。 | 0316 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|---|
| 活動事項 | 関西農業ワールド2017 セミナー参加 |
| 活動年月日 | 平成29年4月5日(水) 7日(金) |
| 場 所 | 大阪市住之江区南港北1丁目5-102 インテックス大阪 |
| 活動の相手方 | (一社)イノブクス 代表理事 藤本 真狩氏 パナソニック(株) 常務役員 北野 亮氏 (株)浅井農園 代表取締役 浅井 雄一郎氏 アグリコネクト(株) 取締役副社長 前田 慶明氏 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地で取り組みが進む「植物工場」や「施設園芸」の課題と可能性、農業経営に関するセミナーを受講し、本県農業施策の提言に生かすため。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初日は「植物工場」の生産事例や最新動向について、専門家の藤本氏による講演とパナソニックが開発した「植物工場」システムについて、同社の北野常務が講演。 2日目は「施設園芸」に着目し、ミニトマトの種苗研究とオランダ式施設園芸を導入し、生産性を高めた浅井農園の現状と今後について、浅井社長の講演と農業コンサルティングによる実態分析や未来について、前田氏の講演を聴いた。 <p>【結果(成果)等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「植物工場」に関する2氏の講演を聴き共通していたのは、中途半端な初期投資ではまず成功しないという事。本県含め全国各地で「植物工場」が導入されているが、黒字化は1割ほど。9割が赤字経営という実態。 レタス栽培を例にすると、1日の出荷量3,000株が採算ライン。しかも大消費地との距離が至近で輸送コストが割安な所でなければ露地モノと対抗できないという分析。 一方で、「農業はシロウト」のパナソニックが、家電で培った技術をフル活用し、生産管理システムを開発し、システム販売を始めたことが物語るように「植物工場」はここ数年で驚くほど技術革新したことが分かった。 つまり、天候や四季に左右されず「定量・定価格・無農薬」食材の生産が可能な「植物工場」を、例えば大都会の空きビルを大資本が次々に「植物工場化」する流れが起きてても全くおかしくない時代に入ったといえる。 こうした中、本県農業がどう生き残りをかけるのか?当面は、植物工場では生産が困難な農産物の選定をはじめ中長期の戦略が不可決で、今後提言していきたい。 2日目の講演で、ひと際印象に残ったのは浅井農園の取り組み。斜陽の植木業を29歳で受け継いだ浅井社長が、経験型農業から脱却。種苗の研究開発から生産、流通、マーケティングに至るまで徹底して「科学」と「データ」要素を取り入れ、6年で年商7億円突破。平成30年には11億円を目指すという。 まさに日本が求める次世代農業経営者の典型であり、ぜひ一度三重県の同社を視察し、本県施策に何を付加できるのか?見極めた上で提言したい。 |
| 関連領収書番号 | 4003 4005 4006 4007 4008 |

関西農業ワールド講演プログラム

事前申込制
定員になり次第申込締め切り
早急にお申込みください。

農家・農協の経営戦略セミナー

特別講演
4月5日(水) 10:30~11:30
4月6日(木) 13:00~14:00

A-S1 農林水産大臣官舎農業が語る！
6次産業化成功の秘訣とは
(株)三和農産 代表取締役 北野 充氏



A-S2 成功事例に学ぶこれからの農業経営
全日本農工連携推進協議会
会長(元ローソン・コンビニ会長) 北野 充氏



A-S3 四国農協特産品と地方創生
〜「買」が拓く農産物の未来〜
農心連 代表取締役 高瀬 秀氏



有料

農業参入・植物工場セミナー

特別講演
4月5日(水) 13:00~14:00
4月6日(木) 10:30~11:30

B-S1 総合電機メーカーの技術ノウハウで工業化した「パナソニック植物工場システム」
パナソニック(株) 常務役員・AVCネットワークシステム部長 上野 浩氏



B-S2 植物工場事業運営の理想と現実、その実現
〜中小農業者と植物工場連携の取組〜
(株)木田園産(小規模農産物生産) 代表取締役 木田 次郎氏



B-S3 高気圧高湿度環境での植物工場
「オーガニック野菜」を専らへ
(株)西農エンジニアリング 取締役 常務役員 西農 真氏



有料

最先端の農業技術セミナー

特別講演
4月5日(水) 15:30~16:30
4月6日(木) 15:30~16:30

C-S1 YAMAが提案する次世代の農業
〜A SUSTAINABLE FUTUREの
実現に向けて〜
ヤマハ(株) アグリ事業本部 農機開発センター 部長 伊藤 行雄氏



C-S2 ITでここを変えよう！
ITのモのスマートフォン農業 最新情報
(株)INTTコム 代表取締役 ICTプロジェクト 担当部長 上原 聖氏



C-S3 海外から学ぶ 世界最高峰の農業技術(国)
海外研修 遠征中
研修内容の是非評価はご自身の責任
www.nagoworld.jp/kansai/seminar/

有料

関西農業ワールド2.1.0.7 農業セミナー参加

日時：2017年4月5日(水)・7日(金)

場所：インテックス大阪

日程：4月5日(水)

6:30 鳥取発 → (マイカー乗車1人 途中S.A.で朝食) → 10:00 インテックス大阪着
10:30~11:30 セミナーB-1 (受講料4,000円)
植物工場による高付加価値商品の生産事例と国内外の最新動向
(一社)イノブレックス 代表理事 藤本 真氏 氏
11:30~13:00 昼食&出展ブース視察
13:00~14:00 セミナーB-S1 (受講料無料)
総合電機メーカーの技術・ノウハウで工業化した「植物工場システム」
パナソニック(株) 常務役員 北野 充氏
14:30 インテックス大阪発 → (マイカー乗車1人) → 17:00 鳥取着

4月7日(金)

6:30 鳥取発 → (マイカー乗車1人) → 9:10 インテックス大阪着
10:30~11:30 セミナーA-5 (受講料4,000円)
若き農業界リーダーが語る！次世代アグリビジネス開発への挑戦
(株)浅井農園 代表取締役 浅井 雄一郎 氏
11:30~13:00 昼食&出展ブース視察
13:00~14:00 セミナーB-5 (受講料4,000円) → VIP 無料)
アグリビジネス最前線！農業コンサルティング現場の経営の現状と今後
アグリネット(株) 取締役副社長 前田 慶明 氏
14:30 インテックス大阪発 → (マイカー乗車1人) → 17:40 鳥取着

専門セミナー

A-1 4月5日(水) 13:00~14:00
A-2 4月5日(水) 15:30~16:30
A-3 4月6日(木) 10:30~11:30
A-4 4月6日(木) 15:30~16:30
A-5 4月7日(金) 10:30~11:30
A-6 4月7日(金) 15:30~16:30

A-1 三ヶ日町農協のブランド戦略 〜すべては産地から〜
三ヶ日町農協 代表取締役 藤本 真氏

A-2 日本一小さい農産物が語る産地戦略ノウハウ
〜加工・販売・輸出の最新情報2017〜
農産生活 代表取締役 田中 浩氏

A-3 農業をゼロから始めるための講座
〜農業現場への現場と今後の展望〜
(株)大田園産 代表取締役 木田 次郎氏

A-4 女性6次産業化の意義とは？
〜女性6次産業化の意義とは？〜
新野アグリビジネス&アグリベンチャー(株) 代表取締役 新野 聖氏

A-5 若き農業界のリーダーが語る次世代アグリビジネス開発への挑戦
〜2017年最新情報〜
(株)浅井農園 代表取締役 浅井 雄一郎 氏

A-6 農産物直売所O成功の秘訣
(株)ベネット 代表取締役 新井 聖氏

専門セミナー

B-1 4月5日(水) 10:30~11:30
B-2 4月5日(水) 15:30~16:30
B-3 4月6日(木) 13:00~14:00
B-4 4月6日(木) 15:30~16:30
B-5 4月7日(金) 13:00~14:00

B-1 植物工場による高付加価値商品の生産事例と国内外における最新動向
(一社)イノブレックス 代表理事 藤本 真氏

B-2 ここまで進化している！植物工場 最新情報
〜大規模施設の最新情報〜
千葉大学 大学院環境学専攻 教授 大島 道彦 氏

B-3 朝市農業における植物工場導入の可能性
大阪府立大学 植物工場実践センター 長 橋 田 真 氏
株式会社コンパニオン 代表取締役 前田 慶明 氏

B-4 負けない！新しい農業参入ビジネスの具体事例を公開
「アグリベンチャー」(株) 代表取締役 山田 浩太 氏
農産物直売所O成功の秘訣とは？
〜直売所O成功の秘訣とは？〜
ベネット(株) 代表取締役 新井 聖氏

B-5 アグリビジネス最新情報
〜直売所O成功の秘訣とは？〜
アグリネット(株) 代表取締役 前田 慶明 氏

専門セミナー

C-1 4月5日(水) 13:00~14:00
C-2 4月6日(木) 10:30~11:30
C-3 4月6日(木) 13:00~14:00
C-4 4月7日(金) 10:30~11:30
C-5 4月7日(金) 13:00~14:00

C-1 「高気圧の高湿度」〜作物による新たな農業技術〜
イノブレックス(株) 代表理事 藤本 真氏

C-2 ドローン・センサー・AI(人工知能)を活用したスマート農業への展望
〜楽しく、かっこよく、稼げる農業をIoT・AIで実現する〜
(株)オプティム セールズ&マーケティングユニット 執行役員 専務 藤田 健一 氏

C-3 NECソリューションズが提案する新しい農業の形
農機が自動化を支援する農業(CTリユース)の
NECソリューションズ(株) 執行役員 専務 藤田 健一 氏

C-4 先進農業こそ、これから伸びる
〜直売所O成功の秘訣とは？〜
(株)未来クリエイト 代表取締役 前田 慶明 氏

C-5 農業再生の切り札！ソーラーシェアリングの最新情報
(一社)ソーラーシェアリング協会 代表取締役 大野 浩 氏

www.nagoworld.jp/kansai/seminar/

〒490-0198 鳥取県鳥取市東町1-1-1 鳥取県農業振興センター 4階 401号室
TEL:085-433-2222 FAX:085-433-2223

政務活動報告書

| | |
|---------------|---|
| 活動事項 | 認可外の初等中等教育・兵庫県の芸術文化施策に関する調査 |
| 活動年月日 | 平成29年4月27日(木) 28日(金) |
| 場所 | ① 神戸市灘区六甲山町北六甲 4512- 743 「ラーンネット・グローバルスクール」 ② 神戸市灘区新在家南町 4-1-31 「関西国際学園初等部」 ③ 神戸市中央区下山手通 5-10-1 「兵庫県 芸術文化課」 |
| 活動の相手方 | ① ラーンネット・グローバルスクール 代表 炭谷 俊樹 氏ほか ② (株) 関西国際学園 CEO 中村久美子氏ほか ③ 兵庫県 芸術文化課 課長 仲井 敬司 氏ほか |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>① 子どもたちの主体性や学ぶ意欲はどうすれば伸ばせるのか？国のカリキュラムに捉われない運営を行う同校を視察し、その理念や手法を本県の公教育に取り入れる可能性を模索する材料とするため。</p> <p>② 国際バカロレア校の認可を受け、グローバルな人材育成に取り組む株式会社経営の同校を調査し、リーダー育成手法について本県教育推進の参考にするため。</p> <p>③ 芸術を核とした地域振興について、兵庫県の取り組みを調査し、本県の県立美術館構想や地域振興に寄与する情報や手法等、新たな知見を得るため。</p> <p>【内容】</p> <p>① ラーンネットでは、基礎学習・テーマ学習・プロジェクト学習・とことんやる！という4本柱で独自カリキュラムを開発。基礎学習では教科書に縛られず「読む、書く、聞く、算数、英語、アート、音楽、体育、自然体験」を子どもたちに提供。 ・講師陣は先生とは呼ばず「ナビゲーター」。「教える」のではなく、子どもたちの興味や関心を引き出す「先導役」という概念を徹底するため。講師12人は各分野でそれぞれ社会経験を積んだ専門家で、なぜ学ぶのか？実体験に基づき「先導」する。</p> <p>② 関西国際学園の教育理念は、日本のために貢献するグローバルに活躍するリーダーの育成。そのために、英語を自在に操る能力と母国である日本語と日本の歴史文化を徹底的に教える。そのアイデンティティーがないと、国際社会で活躍できない。 ・2015年に「国際バカロレア（IB）」認定を取得。IBは、子ども自身に課題を気づかせ考えさせ、解決法を見つけさせる手法が特徴。各クラス20人が定員で、日本人と外国人の2人担任。日本語と英語半々で授業が展開。 ・秋田県にある国際教養大学の学長が視察した際、小6児童の英語力が、自分の大学の学生より高いことに驚愕したという。</p> <p>③ 兵庫県ではH16年、文化芸術振興ビジョン策定。芸術文化センター、陶芸美術館、横尾忠則現代美術館等ハード整備が促進。呼応して芸術家の発表や交流の場が増加。子どもたち対象のオーケストラや舞台芸術鑑賞の機会も増加。 ・一方で、芸術文化に触れる機会が都市部に集中し、地域の偏在化を招いている点。芸術文化の県内外、国外への情報発信が脆弱な点。伝統継承と発展が未着手な点等の課題があり、H27年芸術文化振興ビジョンを10年ぶりに改訂した。 ・東京オリパラ、関西Wマスターズゲームズ等も視野に、観光連携やICT活用で発信。文化団体によるアウトリーチ活動の支援。ふるさとの文化意識UP施策を展開中。</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>【結果（成果）等】</p> <p>① 「なぜ学ぶのか？」同校を調査する中で、その根源の大切さを改めて意識した。森の中を歩く時、ガイドがいるのといないのとは、気づきや興味関心がかなり変わってくるのと同様に、「教師＝ナビゲーター」の役割は極めて重要であり、その言葉かけやテーマ設定で、子ども自身が解決するために自ら学ぶ意欲を掻き立てるという一連の流れの必要性を再認識させられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭谷代表の「テストはしない」方針も大きな問題提起だった。テストがあるから点数が低い子どもは他者と比較し劣等感を持つ。個々を見つめ、伸ばすために必要な手法は何かを講師陣で話し合い実践すれば、子どもは「学び」が楽しくなり、もっと知りたいという欲求が芽生えるという考えに共感した。仲間は競う対象ではなく、一緒に問題を解決するパートナーという考えは実社会に適用するものだ。 ・学校法人ではないから出来ることも多数あるが、理念や手法の中には取り込める要素も少なからずあったので、本県の教育深化の提言に生かしたい。 <p>② 日本の未来を担うリーダー育成という旗印の下、日本人というアイデンティティーを大切にしたい教育が、一般のインターナショナルスクールと一線を画す点であり、もちろん、公教育においても重要な視点ではないかと痛感させられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的に「ふるさと教育」が実践されているが、果たして同校のように、母国の在り様を根底に置いた教育が行われているのだろうか？愛国心の育成とは異なる母国に対する教育を見つめなおす時期に来ているのかもしれない。 ・関西国際学園は、学校法人ではないため公的な補助や支援は一切ない。そのため年間授業料は150万円と高額。今後、首都圏展開も考えているということだが、全寮制にしない限り、富裕層の絶対数が多い大都市部でしか経営は困難であろう。 ・しかしそれでも、日本のために一握りのリーダーを育成したいという中村CEOの行動は大いに共感できるものであり、学園の理念や知見は参考にすべき点も多く、本県の教育の在り方を考える上で、提言に生かして行きたい。 <p>③ 欧米では美術館で早朝ギャラリートークが盛んで、一流企業に勤める人材がこぞって参加し大盛況だと聞く。価値観が多様化し、AIが普及する今後の社会が必要とする人材とは、知識主体の理論派だけではなく、感覚を磨き上げた個性派が主流になると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫の取り組みは、潜在的にこの面を意識した施策が展開されているよう感じた。まちづくり、生活においても欠かせない芸術文化について、本県施策提言の参考にしたい。 |
| 関連領収書番号 | 4019 4020 |

初等中等教育・兵庫県の芸術振興に関する調査

日時：4月27日（木）～28日（金）

参加：木村議員、川部議員、福浜、（坂野議員2日目～）

行先：①ラーンネット・グローバルスクール
②関西国際学園
③兵庫県芸術文化課

日程：4月27日（木）

8:15 鳥取発（マイカー：乗車1人）→中国道・六甲北有料→神戸市灘区六甲山町
10:00①ラーンネットGスクール ～13:40 →車で移動→神戸市灘区新在家南
14:30②関西国際学園初等部 ～17:00 →車で移動→宿泊先（中央区浪花町）

4月28日（金）

9:00③兵庫県 芸術文化課レク～11:00 →以降、福浜 私人（長女引越し）別行動

4月29日（土）

→21:59 佐用JCT →23:00 鳥取着

（参考）

① ラーンネット・グローバルスクール

日本人が世界的視野の教育を受けられる学校として1998年六甲山に開校したフリースクール。少人数クラスと独自カリキュラムで、公教育とは一線を画した教育を実践（対象：小中学生）

② 関西国際学園

国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的教育プログラムである国際バカロレアの認定を受けた株式会社が経営する小学校。世界の複雑さを理解し対処できる生徒を育成する目的で創立。

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 省庁レク・サーフィンによる地域活性化・有償インターンシップの調査 |
| 活動年月日 | 平成29年5月8日(月) 9日(火) 10日(水) |
| 場所 | ① 東京都千代田区霞が関 各省庁 ② 千葉県一宮町 一宮町役場 ③ 鳥取県 東京本部 ④ 東京都八王子市片倉町 東京工科大学 |
| 活動の相手方 | ① 国交省 下水道部 下水道企画課 課長補佐 植垣 浩太郎氏 ほか 資源エネルギー庁 新エネルギー課 企画調整係長 田中 健人氏 ほか 農林水産省 輸出促進課 課長補佐 澤井 弘行氏 ほか 内閣官房 TPP政府対策本部 企画官 中島 勇人氏 観光庁 国際観光課 課長補佐 山田 道昭氏 ほか ② 千葉県一宮町 企画課長 小柳 一郎氏 ほか ③ 鳥取県東京本部 本部長 岡崎 隆司氏 同副本部長 吉井 美和子氏 ④ 東京工科大学 コーオプセンター センター長 戸井 朗人氏 ほか |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>① 下水道コンセッション事例、再生可能エネルギー、農水産物の輸出動向、TPP対策、インバウンド等について国の方針を調査し、本県施策の検証材料とするため。</p> <p>② 東京五輪サーフィン会場の地元自治体の方針を調査し、本県の参考とするため。</p> <p>③ 本県東京本部の取り組みを調査し、今後の本県施策に対する提言に生かすため。</p> <p>④ 東京工科大の国内初の長期有償インターンシップを調査し、本県に提言するため。</p> <p>【内容】</p> <p>① 下水道事業でのコンセッションは浜松市を筆頭に11市が導入を検討中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FIT導入後、再エネは2.5倍増加したが国民負担が増大。太陽光偏在が課題。 ・農林水産物輸出は、H28年7,502億円(対前年0.7%増)を、H31年には1兆円へ。海外セールスや消費動向把握の支援、輸送コストダウンと効率化を強化する。 ・TPP米国離脱による不透明感は否めないが11カ国で粛々と協議を深める。 ・訪日外国人4,000万人達成に向け、受入れ環境、ICT化等を軸に政策展開。 <p>② 一宮町を訪れる観光客の8割がサーファー。都心から特急で60分の利点と安価な住宅事情によりサーファーの移住者が増加し、外房側の自治体では唯一、人口増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一宮町でも砂浜侵食が深刻化。漁業者や地元住民から堤防整備の要望が挙がった。しかし堤防新設により、良い波が立たなくなればサーファーが来なくなり、地元経済や移住にダメージを被る恐れがあるため海岸保全協議会にサーフィン関係者も参加。「波の保全」も重要視した対策を取っている。サーファーと地元との関係良好。 <p>③ 東京本部では首都圏での本県知名度UPに尽力。マスメディアや旅行会社へPR。またインバウンド増加策として外国特派員や人脈豊富なキーパーソンを活用。</p> <p>④ キャンパスがある八王子は歴史的に「ものづくり」の中小企業が多く、工科大卒の人材に期待大の反面、学生は都心の大手企業への就職志望者が圧倒的に多く課題。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そこでカリキュラムを前期後期制から「クォーター制」に改変。地元企業と協定し、全国で初めて工学部全学生を対象に2ヶ月間の長期有償インターンシップを導入。 |

| | |
|---------|--|
| | <p>・企業側は「2ヶ月あれば本気で指導できる」。学生側は「お金をもらっているので、戦力になりたい」など、両者ともに反応が非常に良く、地元就職UPに繋げたい。</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>① 各分野において国の方針を直接聴く機会は非常に貴重で、十分に理解することができ、非常に有意義だった。整理した上で本県施策への提言に生かしていきたい。</p> <p>② 一宮町には年間60万人のサーファーが来る。海岸道路の両側には、サーフショップが鈴なりで、手ぶらで来ても、スキー場と同様に、用具一式レンタルできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・またショップとショップの間を埋めるようにカフェが複数あり、賑わっていた。サーファーは「お金を落とさない」というイメージを払拭させられた。 ・本県も山陽や関西方面から多くのサーファーが来ている。鳥取サーフィン協会の独自調査によると概算で年間30万人。一宮町が10kmで60万人。本県の海岸線は120kmあることを考えれば、誘客を伸ばす余地は十分あると思った。 ・サーファーはアウトロー的なイメージが強いが、一宮町では地元女性会が交代でシャワー室やトイレの清掃を行い、清掃者の名前を記入することになっている。「あのショップのおばちゃんが掃除してくれたんだ。綺麗に使おう！」という意識が自然にサーファー間で広まり、地元とサーファーとが顔が見える関係になっていた。 ・本県では「ヨソモノ排除」という田舎特有の風潮が色濃い面もあるが、一宮町を参考にすればWIN=WINの関係は構築可能ではないかと思う。 ・海岸保全の在り方も、サーファーによる視点が活かされていて参考になった。 ・今回の視察で得た知見を元に、一般質問で本県への提言を行いたい。 <p>③ 全国の自治体がPRに凌ぎを削る東京で、人口最小県の本県を国内外に売り込む情報発信の困難さを、意見交換を通じて改めて感じる事が出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も古巣で、在京キー局相手に如何にすれば山陰両県の情報を取り上げてもらえるか？と日々頭を悩ませていたので、その当時の情景が蘇ってきた。 ・いずれにせよ、首都圏でのPRに呼応して来県した人が「あれっ、こんなものか？」とガッカリされないようにするためにも、本県の観光要素の更なるブラッシュアップが必要だが、東京本部ならではの「東京視点」も不可決だと思ふ。ぜひそうした面での情報交換が益々濃密になるよう要望したい。 <p>④ 全国初の「長期」「有償」という言葉につられて東京工科大学を訪問したが、なぜ踏み切らざるを得なかったのか？その背景を伺うと、「地元貢献しなければならない」という強い使命感と危機意識が根底にあることが理解できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期有償インターンシップを経験した学生が卒業するのは来春で、まだ成果は不明ではあるが、大学側では大きな手応えを感じているのは間違いなかった。 ・本県でも、公立鳥取環境大学、鳥取大学ともに卒業生の地元就職率は2割程度。この現状を打破するには、やはり抜本的に地元企業との結びつきを強める仕組みづくりを、カリキュラム改変してでもやる「覚悟」と「決断」が必要だと思った。 ・ぜひ、一般質問で取り上げて県や大学関係者、地元企業での周知を広め、長期有償インターンシップの導入を図りたい。 |
| 関連領収書番号 | 5005 5006 5007 5008 5009 |

省庁レク・サーファー誘客・東京本部・有償インターンシップ調査

日時：5月8日（月）～ 10日（水）

参加：①中央省庁②サーファー誘客③東京本部・・・野坂、内田隆、藤井、福浜
④長期有償インターンシップ・・・福浜のみ

日程：5月8日（月）

8:45 鳥取空港→ANA294→10:00 羽田空港→京急・JR・東京メトロ→国会議事堂前

13:00①中央省庁レク～17:00 →宿泊先（品川連泊）

5月9日（火）

7:44 品川駅→JR横須賀線・総武線・外房線→9:41 上総一ノ宮駅

10:00②一宮町役場・一宮サーフィン業組合～15:00

15:39 上総一ノ宮駅→外房線・京葉線→17:01 東京駅

→（政務外：水月会セミナー出席）→

19:00③東京本部との意見交換会→22:00 東京駅→宿泊先（品川連泊）

5月10日（水）福浜のみ

8:35 品川駅→JR山手線・中央線→9:46 八王子駅 10:00④東京工科大学～13:00

13:23 八王子駅→JR中央線→13:58 新宿駅 →（政務外：渋谷等）→

16:27 渋谷駅 →JR山手線・京急→17:10 羽田空港 →ANA299→20:35 鳥取空港

政務活動報告書

| | |
|---------------|---|
| 活動事項 | 神奈川県内の文化政策についての調査 |
| 活動年月日 | 平成29年5月21日(日) 22日(月) 23日(火) |
| 場所 | ① 神奈川県相模原市藤野エリアー帯 「ぐるっと陶器市」 ② 東京都千代田区霞が関3-2-2 文科省 ③ 東京都千代田区霞が関3-2-2 文化庁 ④ 東京都港区新橋6丁目20番1 日本PFI・PPP協会 |
| 活動の相手方 | ① (一社) 藤野エリアマネジメント 代表理事 中村 賢一氏 ほか ② 文科省 初等中等教育企画課 専門官 山村 研二氏 ほか ③ 文化庁 文化部文化芸術課振興室 室長補佐 時川 修司氏 ほか ④ 日本PFI・PPP協会 会長 植田 和男氏 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>① 芸術によるまちづくりを実践している神奈川県相模原市(旧:藤野町)を調査し「県立美術館構想」や「いなば西郷工芸の郷」に参考となる情報を得るため。</p> <p>② AI・ロボット普及による第4次産業革命を迎えた中、社会が必要とする人材育成における初等・中等・幼児教育の方向性について国の方針を確認するため。</p> <p>③ 2020年に向けた地域文化財を観光資源として活用する国のアクションプランと県立美術館建設を踏まえ、国の支援メニューについて確認するため。</p> <p>④ 県立美術館構想で検討されるPPP・PFIについて専門家の意見を聴くため。</p> <p>【内容】</p> <p>① 18回を数える「ぐるっと陶器市」。工房や古民家、一般住宅の庭など21ヶ所が陶器市の会場となり、「無料シャトルバス」で周遊し、終日楽しめる。</p> <p>・旧町職員の中村賢一氏が「火付け役」。芸術家の家探しから生活まで懇切丁寧に支援。地元とのつなぎ役も務め、その評判から芸術家移住が後を絶たなくなった。</p> <p>・地元住民も触発され、農園レストランや市民発電所、地域通貨等を生み出している。</p> <p>② 今後の社会が必要とする人材とは「主体的・異文化理解・協調性」。答えがない課題にどう向き合うかが問われ、その育成を新学習指導要領の柱に据えた。</p> <p>③ 例えば農村では「農業と神社は繋がっている」ものであり、如何に観光資源として「可視化」できるかが今後の焦点。歴史には“ものがたり”があり誘客できる。</p> <p>④ 美術館にPFI手法を持ち込むなら、設計も組み込んだ方がVFMはアップ。</p> <p>反面、独創的(人を呼ぶ)建築は困難となる。その方向付けが最大のポイント。</p> <p>【結果(成果)等】</p> <p>① 藤野再生の鍵は「行政に任せられない」という住民の危機感と自立意識。本県も過疎と高齢化に直面しているだけに、良いお手本として調査を深めるべき。</p> <p>② 国の方針には賛成するが、現場に落とし込む手法が確立しないと「ゆとり教育」失敗の二の舞になる恐れを感じた。ぜひ国も県も丁寧に取り組んで欲しい。</p> <p>③ 未開発な本県だからこそ、光るものが多いと再認識。県側に積極提案したい。</p> <p>④ 非常に示唆に富んだ内容で、植田会長を本県に招き、再度勉強会を開催したい。</p> |
| 関連領収書番号 | 5013 5014 |

平成29年5月18日

鳥取県議会事務局 御中

面会対応について

次のとおり決定しましたので、御連絡いたします。

面会者：木村 和久 議員
福浜 隆宏 議員
坂野 経太郎 議員
川部 洋 議員

日時：5月22日（月）14：00～15：00 公教育について
15：00～16：00 文化芸術振興について

場所：文部科学省東館13階 第3会議室

※当日は、合同庁舎7号館東館2階のエントランス（受付）において、面会に来た旨を係の者に伝えていただき、法令審議室審議第二係（長島又は水島）に連絡を取るように申し出てください。

連絡があり次第、お迎えに参ります。（内線2175）

対応者：

初等中等教育局

山村 研二 初等中等教育企画課 専門官
廣野 宏正 初等中等教育企画課 教育制度改革室 専門官
畑島 晃貴 教育課程課 係長
島田 渚紗 幼児教育課 係員

高等教育局

荒木 秀治 大学振興課 大学入試室 室長補佐

文化庁

時川 修司 文化部 芸術文化課 文化活動振興室 室長補佐
加々美 綾乃 長官官房政策課 係長
中村 妙 文化部 芸術文化課 支援推進室 独立行政法人担当専門職
大村 祐大 文化財部 伝統文化課 係長
福島 俊輔 文化財部 美術学芸課 係長

以上、よろしく願いいたします。

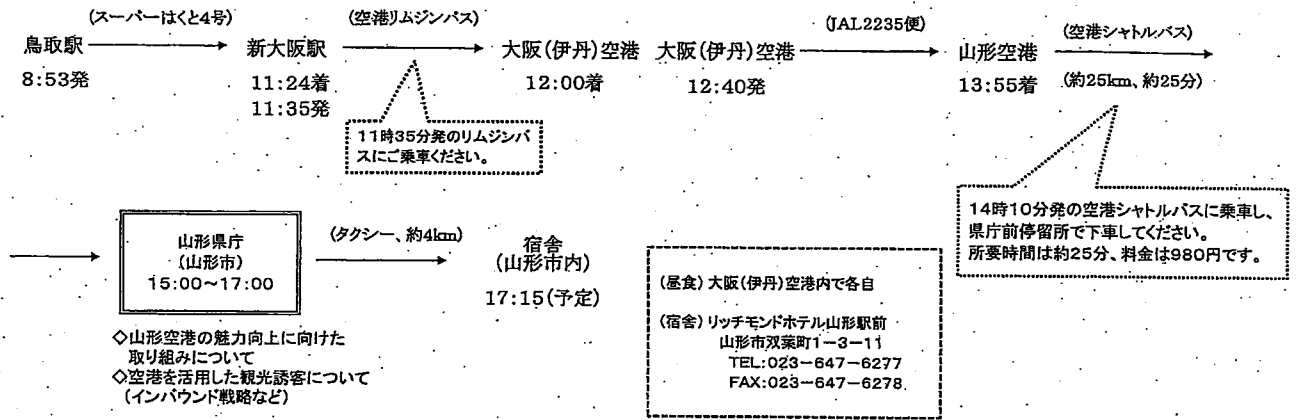
文部科学省大臣官房総務課法令審議室
審議第二係 長島

政務活動報告書

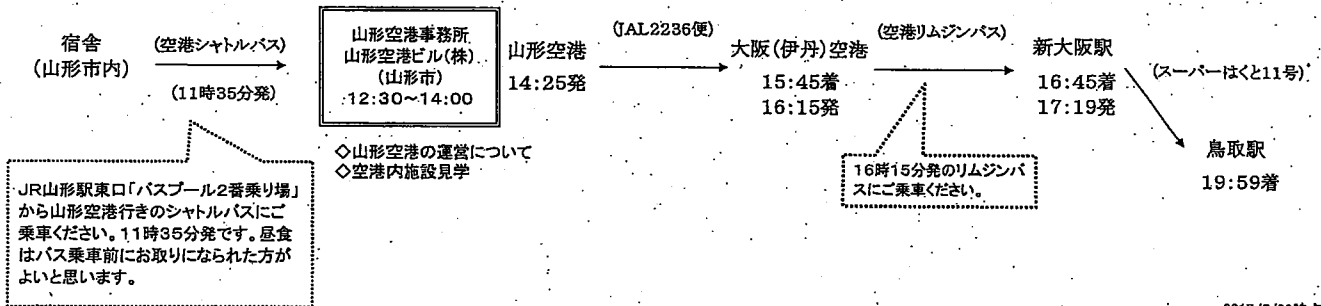
| | |
|---------------|---|
| 活動事項 | 「空の駅」議員研究会 山形空港・山形県の空港政策についての調査 |
| 活動年月日 | 平成29年5月31日(水)～6月1日(木) |
| 場所 | ① 山形県庁 ②山形空港事務所 |
| 活動の相手方 | ① 山形県 企画振興部 総合交通政策課 課長補佐 福島 孝一氏 山形県 観光文化スポーツ部 インバウンド国際交流推進課 課長補佐 藤岡俊裕氏ほか ② 山形空港事務所 所長 三條 義浩氏 同 副所長 海野 勝志氏 ほか |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来年7月、リニューアルを控える鳥取砂丘コナン空港「空の駅化」の未来図を描く参考に、台湾とのチャーター便就航等インバウンドにも力を入れる山形県の空港政策について、県の方針と空港のハード・ソフト両面を調査するため。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山形空港の定期便は、H25年は2路線4往復(東京1、大阪3)だったが、利用拡大施策を強化。現在は4路線8往復(東京2、大阪3、名古屋2、札幌1)。 ・ 搭乗数は東京5往復だったH4年がピークで年間74万人。その後、新幹線の影響でH24年11万人まで激減。H28年25万人。H29年29万人目標と回復途上。 ・ 東京便はコンテスト枠(鳥取と同様)で増便。JALと地元で<u>収支共有制度</u>を締結。収支(黒字/赤字)を半分ずつ取得/負担を基本に、運賃を新幹線と競合可能なレベル片道11,300円、国際線乗継の外国人対象に5,400円を設定。搭乗率80%超を実現。 ・ インバウンドは東日本大震災影響でH22年9.6万人からH24年3.7万人まで激減。しかしH28年には12.7万人とV字回復。<u>復興交付金</u>を投入しH32年30万人目標。 ・ 東アジア、東南アジア、中国、欧米豪と4分類し、特性と嗜好に合わせた旅行商品を東北6県共同で開発。台湾チャーター便は宮城、秋田と共に年間30便前後就航。 <p>【結果(成果)等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取羽田便の運賃減額は長年の課題。その中でJALとの収支共有制度は地元の「本気度」と「覚悟」の証。本県でも調査を行い、地元経済界の理解を取り付け、ANAとの間で協議に入ることを県に要望したい。 ・ 震災復興交付金というメリットはあるものの、東北6県の連携の強さに正直驚愕。本県でも隣県と周遊商品を開発しているが、参考にすべき点が多いと感じた。 ・ 台湾は山形蔵王&温泉で誘客。単に「雪を見たい!」という要望が多いという。鳥取でも「カニ&温泉&氷ノ山」で冬季チャーターが十分可能だと考える。また岡山空港には台湾定期便があり搭乗率は7割前後。本県が協力できる余地はある。 ・ 台湾では東北出身のランドオペレーターが、航空会社や旅行雑誌等への売り込みを「粘り強く、丁寧に、マメ」に動いているといい、この東北人氣質は見習うべき。 ・ 山形空港で目を引いたのは「2次交通の充実」と「多言語化」。山形市内、最寄駅、周辺市町、蔵王温泉、銀山温泉の5路線を県が運行支援。羽田乗継客を意識し、空港案内表示は「5ヶ国6言語」。QRコードを使えば15カ国対応で看板や観光マップ等の文字情報が音声化されていた。本県でも導入すべきで要望したい。 |
| 関連領収書番号 | 6002 6003 6004 |

鳥取県議会 鳥取砂丘コナン空港の「空の駅」化をすすめる議員研究会 県外調査日程表

平成29年
5月31日(水)



6月1日(木)



2017/5/29時点

山形空港の概要等について

鳥取県議会事務局まとめ

空港の概要について

※山形県山形空港事務所「2016山形空港概要」より作成

| | |
|-----------------|---|
| 供用開始年月日 | 昭和39年6月8日 |
| 空港の名称 | 山形空港(愛称:おいしい山形空港) |
| 空港管理者 | 山形県 |
| 所在地 | 山形県東根(ひがしね)市 |
| 滑走路延長 | 2,000m(1本) |
| 駐車場 | 766台(乗用車749台、タクシー17台) |
| 定期就航便 | 羽田便(1日2往復)、伊丹便(1日3往復)、名古屋便(1日2往復)、札幌便(1日1往復)以上、8往復便 ※札幌便は、今年3月に就航したばかり ※なお、以前は、関空便・福岡便・函館便の運行実績あり |
| 定期便乗降客数(平成27年分) | 羽田便:86,053人、伊丹便:96,805人 名古屋便:36,409人 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 「会派合同視察」 島根原発・山陰合銀・JR米子支社 意見交換 |
| 活動年月日 | 平成29年7月4日(火)5日(水) |
| 場 所 | ① 松江市鹿島町 島根原子力発電所 ② 松江市魚町 山陰合同銀行本店 ③ 米子市弥生町 JR米子支社 |
| 活動の相手方 | ① 島根原子力本部 副本部長 長谷川千晃氏 ほか ② 山陰合同銀行 常務執行役員 今若 康浩氏 ほか ③ JR米子支社 支社長 梅谷 泰郎氏 ほか |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>① 福島第一原発の事故を受けて、国は新しい規制基準を策定。重大事故が発生した際に深刻化を防ぐ対策を新設。その対策状況を確認するため。</p> <p>② 山陰合銀が行内に設置した地方創生プロジェクトチームの取り組みについて調査し、行政支援策提言の材料とするため。</p> <p>③ 6月17日に運行開始した豪華列車「瑞風」の現況について調査し、瑞風を生かした地域振興・観光施策を検討し、提言するため。</p> <p>【内容】</p> <p>① 新規規制基準の対策は具体的に、炉心損傷防止・格納容器破損防止・放射性物質の拡散抑制・緊急時の対応機能強化・テロ対策の5本柱。 ・島根原発では2号機再稼働に向け、国の原子力規制委員会による新規規制基準の適合性確認審査をこれまでに84回受けた。 ・宍道断層の長さは追加調査の結果、断層は認められなかったが、安全性に万全を期す観点で、評価距離を西側に3km延伸。22kmから25kmに見直した。</p> <p>② 地方創生Pの取り組みとしては、起業・創業支援、女性活躍支援、新たな資金調達ニーズへの対応強化、産学連携による新産業創出等を展開。このほか、農林水産業支援では応援ファンドを組成し6次化産業化を支援。また地元への人材還流として米子高専と包括連携協定を締結し、企業とのマッチングを強化。</p> <p>③ 運行開始直後の「瑞風」に対する人気は予想以上に高く、山陽ルートより山陰ルートの倍率が非常に高い。認知度が低い山陰の良さを瑞風運行により地元自治体と一緒に光を当てることで、高評価に繋がっている。 ・2018年夏の「山陰ディスティニーキャンペーン」に合わせて新たな観光列車「あめつち」を運行予定。「瑞風」より安価設定で幅広い層に楽しんで頂ける。</p> <p>【結果(成果)等】</p> <p>① 宍道断層の長さを西に延伸させた姿勢は評価できる。一方、東側の延伸も考慮しているということで、基準地震動の基礎になるものだけに万全を期して欲しい。</p> <p>② 地元の活力創造に当行の果たす役割は資金・情報・育成・人脈等で極めて大きく、今後とも行政や経済界とタイアップして、適時性の高い企画を求めたい。</p> <p>③ 「瑞風効果」を最大限に発揮させる意味でも更なる施策を行政側に求めたい。</p> |
| 関連領収書番号 | 7006 7018 |

会派自民党・鳥取県議会会派希望 政務調査日程

H29. 6. 29

平成29年7月4日(火)

| 時 間 | 場 所 | 備 考 |
|-------|--|---|
| 9:44 | 鳥取駅発 | スーパーおき3号(乗車)山口、福田、福浜 |
| 9:48 | 鳥取大学前駅発 | ↓ (乗車)藤縄 |
| 10:12 | 倉吉駅発 | ↓ (乗車)横山、川部、藤井 |
| 10:46 | 米子駅発 | ↓ (乗車)上村、稲田 |
| 11:08 | 松江駅着 | ↓ |
| | タクシー(約35分) | |
| 11:45 | 島根原子力館着 ※別添参照 | (昼食)弁当@1,080円(お茶付)×9 |
| 14:45 | 島根原子力発電所 (松江市鹿島町片匂 654-1) 【緊急時の連絡先】090-2296-1056 | 現地視察及び意見交換 ・島根原子力発電所の安全対策について (中国電力鳥取支社 山田副支社長) |
| | タクシー(約30分) | |
| 15:30 | 山陰合同銀行 (松江市魚町10) 電話:0852-55-1000 | 意見交換 ・山陰合同銀行における地方創生の取組 について |
| | タクシー(約2分)or 徒歩(約6分) | |
| 17:30 | 皆美館 (松江市末次本町14) 電話:0852-21-5131 | 懇親会(会費1万円) ※山陰合同銀行:頭取ほか1名 ※中国電力:鳥取支社長ほか1名 |
| | タクシー(約5分) | |
| 21:30 | ドミーインエクスプレス松江 (松江市朝日町498-1) 電話:0852-59-5489 | 禁煙シングルルーム(朝食付)7,980円 ※1階,5階,7階に喫煙ルームあり |

平成29年7月5日(水)

| 時 間 | 場 所 | 備 考 |
|-------|--|--|
| 8:30 | ドミーインエクスプレス松江発 | |
| | 徒歩(約5分) | |
| 8:57 | 松江駅発 | やくも10号 |
| 9:20 | 米子駅着 | ↓ |
| | 徒歩(約2分) | |
| 10:00 | JR西日本米子支社 (米子市弥生町2 総務企画課) 電話:0859-32-0255(吉村氏) | 意見交換 ※梅谷泰郎支社長対応 ・鉄道(瑞風)を生かした地域振興・観光 振興について |
| 11:00 | ※当日は1階受付で「支社長様との約束あり」とお伝えください | |
| | 徒歩(約2分) | |
| 12:17 | 米子駅発 | スーパーまつかぜ8号 |
| 12:54 | 倉吉駅着 | ↓ (降車)横山、川部、藤井 |
| 13:21 | 鳥取大学前駅着 | ↓ (降車)藤縄 |
| 13:26 | 鳥取駅着 | ↓ (降車)山口、稲田、福田、福浜 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 「林活促進地方議員連盟総会」参加と「国会議員」への要請活動 |
| 活動年月日 | 平成29年7月11日(火) |
| 場所 | 東京都千代田区霞が関3-2-5 東海大学校友会館、議員会館 |
| 活動の相手方 | 法政大学デザイン工学部建築学科教授 網野禎昭氏、鳥取県選出国会議員ほか |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材需要減や木材輸入による価格低迷の中、国産材の生産が拡大しつつあるが経営基盤はまだ脆弱で、担い手の中山間地は過疎と高齢化で危機的状況にある。この共通課題を抱える地方が結束して国への要請活動を行う必要があるため。 ・鳥取県選出の国会議員に対し、林業政策推進と予算確保の要望活動を行うため。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会には44道府県からおおよそ150名が参加。 ・冒頭、谷洋一会長が「与党の税制大綱に『平成30年度の税制改正で森林環境税の結論を得る』と明記されたが、37道府県の超過課税との整合性等の課題を克服する必要がある、導入促進に向けた働きを強めたい」と挨拶。 ・林野庁の沖修司長官は「政策の進展には、地方議会の意見書が極めて有効。全国16ヶ所をモデル地域(鳥取県日南町含む)に指定し、持続可能な林業・山村の仕組みを構築する」と述べ、小坂善太郎計画課長が森林環境税の検討状況を説明。 ・法政大学の網野教授が「欧州の木造建築から見た社会」というテーマで講演を行った。欧州ではそれぞれの街がエネルギー効率を高めたコンパクトな街になっている。人口3,000人程度の小さな街でも、木造公共施設に役場機能、レストラン、本屋、幼稚園、賃貸オフィス等が併設。住民はここに来れば全て用事が済む。住民が製材ゴミを捨てる場所もあり、廃材を燃やしてエネルギーに転換。 一方、日本ではユーザー側からの提案がなく、どんな建物が必要なのかの議論がない。また木造ドームが代表するように大型の木造建築ばかりに注目が集まり、生活・コミュニティ・エネルギー等の視点から住民にとって本当に必要な建物とは何か?その目的の明確化がポイントでその先に木材利用があると提唱。 ・総会后、議員会館に移動。石破氏、赤澤氏、青木氏、舞立氏(秘書対応)に対し、本県の課題である「路網整備・造林・林業成長産業化」の3点について要望した。 <p>【結果(成果)等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網野教授による基調講演の内容が非常に新鮮で印象に残った。欧州の公共施設は、1階の基礎部分はRC(鉄筋コンクリート)もしくはSRC(鉄筋鉄骨コンクリート)で、2階から4~5階にかけては木造というハイブリット建築が一般的という。 ・そうなると地元建設会社や工務店の活躍の場が大きく広がり、県産材の活用も住宅以外の面でも進むことが考えられる。今後、本県でも人口減が一定程度進むことを考えると、建築物は大型化より適正化を重視した方が懸命だと改めて痛感した。 ・また、住民が廃材ゴミを置けるスペースが確保されているという点も斬新だった。木質バイオマスエネルギーの推進は本県にとっても重要であり、提言したい。 |
| 関連領収書番号 | 7007 7008 7009 |

福永議員様
ご査収ご容儀
森谷平祐向 宛存

平成29年5月26日

「林活地方協議」
道府県会長 各位

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟
全国連絡会議 会長 谷 洋一

林活地方協議全国連絡会議平成29年度定時総会について

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟（林活地方協議）全国連絡会議の
平成29年度定時総会を下記により開催いたしますので、ご多忙中のところ恐縮
に存じますが、多数のご参加をお願いいたしたくご案内申し上げます。

記

- 1 日時：平成29年7月11日（火）13時30分～16時
- 2 場所：東海大学校友会館「阿蘇の間」（TEL:03-3581-0121）
〒100-6035 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階
<アクセス>
<http://www.kasumigaseki36.com/access/index.html>
- 3 参加人員：総会出席者氏名を、別紙により6月16日（金）までに、
E-mail又は別紙によりFAXにてご連絡下さい。

| |
|----------------------------|
| 定時総会当日のスケジュール |
| 第2回役員会 10:30～13:00（役員連盟のみ） |
| 定時総会 13:30～14:30 |
| 講演 14:40～（1時間程度） |
| 終了後、役員等による要請活動を予定 |

林活地方協議全国連絡会議事務局
（一社）日本林業協会内
TEL:03-3586-8430 FAX:03-3586-8434
E-mail:jfa@j-forestry.or.jp

平成29年度定時総会次第

- 13:30～ 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓挨拶 林野庁 五宮。全山形市モリノ地域「親善」出しほし。森研視覚院 前田会長
- 14:00～ 4 議事
(1) 議案1号の1 平成28年度 事業報告について
(2) 議案1号の2 平成28年度 収支計算書について
(監査報告)
(3) 議案2号の1 平成29年度 事業計画（案）について
(4) 議案2号の2 平成29年度 収支予算書（案）について
(5) 議案3号 平成29年度 会費の賦課及び徴収方法（案）について
(6) その他
- 5 講演
「ヨーロッパの木造建築から『木と建築と社会』を考える」
法政大学デザイン工学部建築学科教授 網野 慎 昭
- 6 閉会

ヨーロッパの木造建築から『木と建築と社会』を考える

講師：網野 禎 氏 (法政大学デザイン工学部建築学科教授)

<講師より>

人口減少や地方都市の縮小をはじめ、大きな変化をむかえる日本社会にとって、国産材活用はどのような意義を持ちうるのか？

ヨーロッパの伝統と中山間地域の取組みを例に、木材資源を活かした循環型社会の形成について考えてみたい。

<講師プロフィール>

■ 経歴
スイス連邦工科大学ローザンヌ校 建築土木環境工学部 アシスタント 1999-2004
ウィーン工科大学建築学部 アシスタント・プロフェッサー 2004-2010

■ 学歴
早稲田大学 理工学部 建築学科 1990 卒業
東京大学 工学系研究科 建築学専攻 博士前期 1993 修了
スイス連邦工科大学ローザンヌ校 土木学部 木造建築修士課程 博士前期 1999 修了
スイス連邦工科大学ローザンヌ校 建築土木環境工学部 木造建築部門 博士後期 2002 修了

■ 学位
Docteur ès sciences techniques (PhD in Civil Engineering) スイス連邦工科大学ローザンヌ校

■ 研究分野
建築構法 木造建築
■ 研究実績
Forschungsprojekt 8+ Peter Krabbe 2007-2007 共同研究 国際共同研究 オーストリア政府交通・技術革新省助成研究「8+」のメンバーとして構造計画を担当。2007年末に20階建て木造オフィスビルのプロトタイプ設計をまとめ、交通・技術革新省に提言。

■ 受賞
シユバイクホフアワー賞 2005年、木造建築分野での社会人修士課程の設立に対して共同受賞。都市部の木造ニーズの拡大を目標として対象を都市における木造デザインと絞った点と、各国エキスパートの参加による講師陣の充実を図るため、ウィーン工科大学、ドレスデン工科大学、トリノ工科大学との三拠点による広域遠程を提案した独自性が評価された。
2015年度グッドデザイン賞ベスト100 「新築住宅[木のカタマリに住む]」

平成29年7月11日 林活識連要望活動

要望先

石破 茂 議員 (衆議院議員) 衆議院第2議員会館5階515 ㊟16:30。議員会館。

TEL 03-3508-7525

赤澤 亮正 議員 (衆議院議員) 衆議院第2議員会館10階1022 ㊟16:45。議員会館

TEL 03-3508-7490

舞立 昇治 議員 (参議院議員) 参議院議員会館6階603 ㊟16:10。議員会館 (秘書対応)

TEL 03-6550-0603

青木 一彦 議員 (参議院議員) 参議院議員会館8階814 ㊟15:50。議員会館。

TEL 03-6550-0814

民進党

小川 勝也 議員 (参議院議員) 参議院議員会館12階1217

政務活動報告書

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|--------------------------|--------|--------------------------|--------|-----------------------------|----------|--------------------|--------|----------|--------------|
| 活動事項 | 「AI導入による自治体業務・市民サービス改革セミナー」参加等 | | | | | | | | | | |
| 活動年月日 | 平成29年7月26日(水) | | | | | | | | | | |
| 場 所 | 東京都中央区新川2-4-7 東京ユビキタス協創広場CAMBAS 東京都新宿区新宿3-14-1 伊勢丹新宿店 バルコス店舗 | | | | | | | | | | |
| 活動の相手方 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">① (一社)行政情報システム研究所 調査普及部長</td> <td style="width: 40%;">狩野 英司氏</td> </tr> <tr> <td>② 千葉県 市民局 市民自治推進部 広報公聴課長</td> <td>松島 隆一氏</td> </tr> <tr> <td>③ 日本マイクロソフト(株)パブリックセンター統括本部</td> <td>森川 雅晴氏ほか</td> </tr> <tr> <td>④ 東京都 豊島区 区民部 税務課長</td> <td>高橋 邦夫氏</td> </tr> <tr> <td>⑤ 伊勢丹新宿店</td> <td>バルコス社長 山本 敬氏</td> </tr> </table> | ① (一社)行政情報システム研究所 調査普及部長 | 狩野 英司氏 | ② 千葉県 市民局 市民自治推進部 広報公聴課長 | 松島 隆一氏 | ③ 日本マイクロソフト(株)パブリックセンター統括本部 | 森川 雅晴氏ほか | ④ 東京都 豊島区 区民部 税務課長 | 高橋 邦夫氏 | ⑤ 伊勢丹新宿店 | バルコス社長 山本 敬氏 |
| ① (一社)行政情報システム研究所 調査普及部長 | 狩野 英司氏 | | | | | | | | | | |
| ② 千葉県 市民局 市民自治推進部 広報公聴課長 | 松島 隆一氏 | | | | | | | | | | |
| ③ 日本マイクロソフト(株)パブリックセンター統括本部 | 森川 雅晴氏ほか | | | | | | | | | | |
| ④ 東京都 豊島区 区民部 税務課長 | 高橋 邦夫氏 | | | | | | | | | | |
| ⑤ 伊勢丹新宿店 | バルコス社長 山本 敬氏 | | | | | | | | | | |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIが自治体業務に導入されることで業務効率や県民・市民サービスがどう向上する可能性を秘めているのか?行政提言の参考とするため。 ・伊勢丹新宿の「バルコス」店舗を訪問し、新作発表に臨む山本社長の思いを伺う。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「画像認識精度」では人の認識精度94.9%を2015年に上回り97%まで向上。分類・抽出、評価・判定、異常・不正検知、予測、マッチング等の領域で活躍。行政業務に置き換えると政策立案のための情報収集や傾向把握、優先度評価。過去の判例等との適合性の評価。相談・苦情対応。予算管理・会計管理等の領域で不眠不休で大量データを高速処理し、人に見抜けない事実を発見。 ② 千葉県では日本マイクロソフト社の提案で市民情報のWEBオープン化を平成26年度から本格導入。年間12000件に及ぶ道路や年2,000件に及ぶ公園の不具合に関する市民からの情報をWEB地図で「ちばレポ」として可視化し市民と共有。解決前と改修後の写真も公開したことで市民の参画・協働意識が著しく向上した。 ③ AI導入を成功させるには「どうしたいのか?」という課題と対応方針がないと難しい。山梨県甲府市では、県内学生の県内就職が少ないという課題解決のため、AIマッチング機能に注目。基礎データとして学生・企業アンケートを実施。16000件のデータを解析して機械学習させ、マッチングシステムを開発した。 ④ 豊富な経験が必要な納税対応にAIを活用。過去納税者情報を機械学習させ、人の属性から財産調査業務の効率的な順序を予測。また滞納者がどのような経路で滞納したのか?分析し、今後、滞納する可能性が高い人を予測。 ⑤ 伊勢丹新宿店の「バルコス」店舗で新作発表展を開催中。山本社長に話を伺うと、同店舗のテナント料と売上のみを対比すると採算性は厳しいが、新宿店の持つ発信力や波及効果は数字に表れない以上の大きな効果があるという。 <p>【結果(成果)等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① AI導入で、住民サービスはいつでもどこでも気兼ねなく、1人1人の状況に応じたパーソナライズ化と高精度マッチングが進展するとの認識を深めた。 ② 財政難の中、住民参画は効率化や省力化に不可決で、その解決策に成り得る。 ③ どの職種に向いているのか?膨大な企業情報から学生が選択するのは容易ではなく、指針としてマッチングシステムがあれば効果は高いと認識した。 | | | | | | | | | | |

| | |
|----------------|--|
| | <p>④ データに基づく知見が確立されてこそAIは生きると感じた。行政が保有するビッグデータを2次加工できる形にすることが肝要だと考える。</p> <p>以上、今回のAIセミナーは適時的かつ濃密な内容であり、整理して県政への提言に活用する。</p> <p>⑤ 世界一流ブランドのバッグメーカーと肩を並べ、伊勢丹新宿店の一角で奮闘する「バルコス」店舗を初めて訪れた。山本社長は「まだまだ差は大きい」と述べていたが、自分の目には決して引けを取っていないように映り、鳥取県のメーカーが第一線で凌ぎを削る姿に感動すら覚えた。今後、東南アジア方面での新展開を計画中ということだが、各分野で第2第3の「バルコス」が誕生するよう、特に起業家育成に関する本県の施策の在り方について再検証したいと思う。</p> |
| <p>関連領収書番号</p> | <p>7004 7005 7017</p> |



2017年7月5日

第VII期 セミナー第5回 [受講証]

No. 2

鳥取県議会議員

福浜 隆宏 様

電子自治体推進パートナーズ(事務局)

 あすの街と村を考える
地域科学研究会

 東京都千代田区一番町 6-4
 ライオンズ第2-106 〒102-0084
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4973
 E-mail; machi@chiikikagaku.com

(担当: 飯田/大石)

第5回:『AI導入による自治体業務・市民サービスの改革』

受講証・会場地図のご送付について

2017年7月26日(水)10:00~17:00 内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS

前略 この度は上記セミナーにお申込みいただき、誠にありがとうございます。受講証及び会場地図をお送りしますので、宜しくご確認の程お願い申し上げます。 草々

〔会場〕内田洋行 東京ユビキタス協創広場 CANVAS 2階会議室 (東京都中央区新川 2-4-7)

(「UCHIDA」のロゴ看板がある建物)

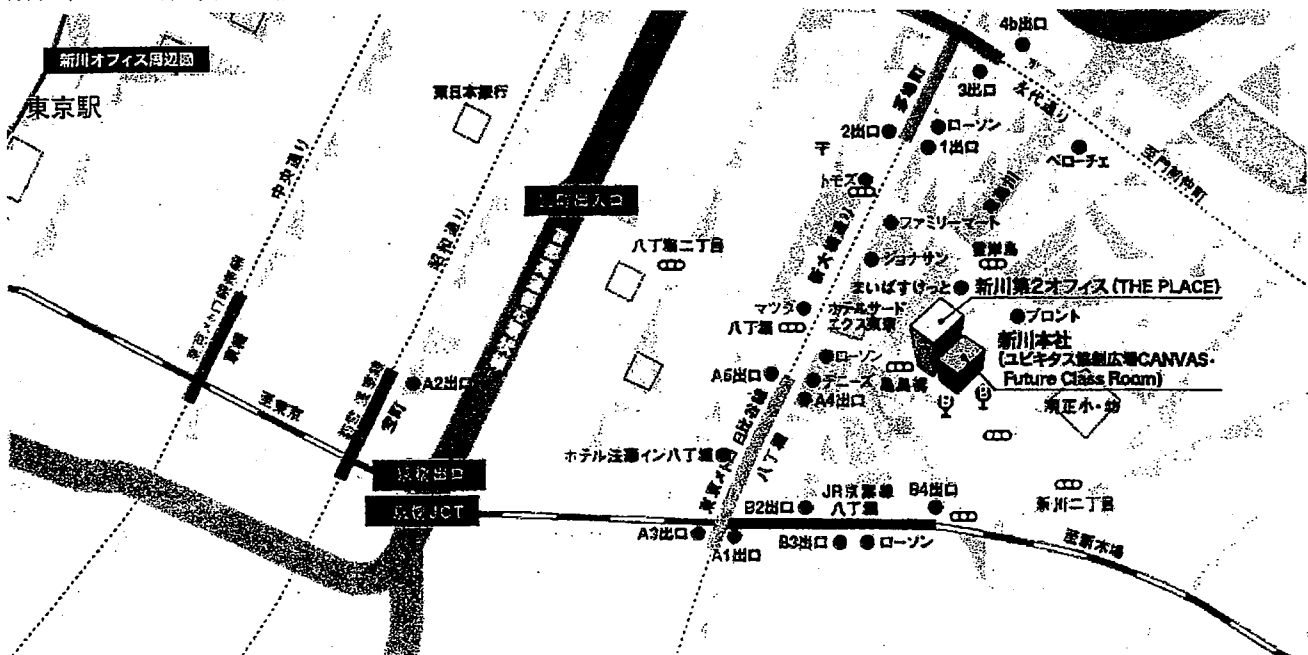
JR・地下鉄(東京メトロ): 日比谷線「八丁堀駅」下車、A4出口より徒歩4分

日比谷線・東西線「茅場町駅」下車、1番出口より徒歩5分

JR京葉線「八丁堀駅」下車、B4出口より徒歩5分

東京駅よりバス: 東京駅八重洲南口より「東15系統」または「東16系統」で「深川車庫」「豊洲駅」「住友ツインビル」行きで4つめの停留所「新川」(内田洋行本社前とアナウンス有り)で下車、徒歩1分

※お車でのご来館はご遠慮下さい。



追伸: 当日ご都合が悪くなられた場合には、代理の方の出席をお願い致します。

| 時 | 講 義 内 容 | 頁 |
|-------|---|------|
| 10:00 | <p>A I の行政への導入ー業務改革、サービス向上への期待と今後 (一社) 行政情報システム研究所 調査普及部長 主席研究員 狩野 英司</p> <p>イントロダクション</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. AIが行政サービスに与えるインパクト 2. AI導入の観点から見た行政の特性と課題 3. 現実解としてのAI導入可能領域 4. 行政へのAI導入ステップ 5. 今後の可能性と展望 | 1- 1 |
| 11:40 | <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> | 1-14 |
| 12:40 | <p>〔千葉県〕 次世代ちばレポ MyCityReportの実証実験 ～機械学習等による道路維持管理業務の高度化に向けて～ 千葉県 市民局市民自治推進部広報広聴課 課長 松島 隆一</p> <p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ちばレポに至る背景 2. ちばレポの概要 3. ちばレポの運用状況と課題 4. 次世代ちばレポ (MyCityReport) 実証実験 5. 機械学習等による道路維持管理業務の高度化 | 2- 1 |
| 14:00 | <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> | 2-29 |
| 14:10 | <p>マイクロソフトが目指すAIの民主化と公共機関様での活用について 日本マイクロソフト(株) パブリックセクター統括本部 クラウドソリューション技術営業統括本部 森川 雅晴 (株)エーティーエル システムズ データソリューション事業部 システム開発部長 濱口 孔真</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マイクロソフトの AI への取り組み 2. マイクロソフト AI テクノロジー 3. AIプロジェクトの進め方 4. (株)エーティーエル システムズのご紹介 5. 公共機関の事例をベースに ～開発環境、インプット、開発手法、アウトプット 今後の対応、AIを活用するための基盤～ | 3- 1 |
| 15:30 | <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> | 3-26 |
| 15:40 | <p>〔豊島区〕 住民税業務へのA I 技術適用の展望 豊島区 区民部税務課長 (総務省個人住民税検討会委員) 高橋 邦夫</p> <p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マイナンバーによって税務業務はどう変わったか 2. 税務パッケージを導入しても残業が減らない原因 3. RPA導入による税務事務効率化の狙い 4. AI技術は税務事務をどのように変えるのか | 4- 1 |
| 17:00 | <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> | 4-24 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|---|
| 活動事項 | 鳥取岡山県境議連「総会」参加 |
| 活動年月日 | 平成29年8月29日(火) |
| 場所 | 岡山県津山市 津山国際ホテル |
| 活動の相手方 | 県境議連会員(鳥取7名 岡山6名) 両県執行部(鳥取県2名 岡山県3名) |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県境を接する鳥取県と岡山県が、過疎と高齢化に直面する中山間地域共通の課題と持続可能な地域づくりに向け情報交換し、スクラムを組み行政提言等を行うため。 <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 昨年度、県境議連有志が視察したスイスの現状について、参加者を代表し岡山県の河野慶治議員が報告。スイスは人口の8割超が都市部に集中。しかし日本の中山間地にあたる農村は非常に元気。最大の要因は木質バイオマスによる発電。農家は自分の敷地に、間伐材や端材等を貯蔵するサイロとボイラーを整備。近隣の公共施設や商業・集合住宅等にパイプラインで給湯して利益を得ている。 ② 両県執行部から「ドクターヘリの運用」と「移住定住政策」の2点について、施策説明が行われた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ドクターヘリについては、鳥取県でも今年度末予定で、導入予定で岡山県北部もカバー。津山中央病院と高梁中央病院も搬送先医療機関に指定されている。 ・移住定住については、東京のアンテナショップとっとりおかやま新橋館を会場に両県合同で移住相談会の開催や移住体験ツアーを実施。今後も継続する方針。 ③ 意見交換 <p>【結果(成果)等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スイス農村部での木質バイオマス発電は、恐らくドイツを参考にしたと考えるが、発電だけではなく、近隣地域にパイプラインを張り巡らせることにより熱給湯を可能にする仕組みが出来上がっている点が最大の特徴。 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県でも木質バイオマス発電が行われているが、エネルギー効率を高めるためには、熱利用をもっと考えた方がメリットは大きく、それが中山間地域に落ちるお金を増やすことに繋がり、人口減に対し一定のダム効果を果たすという思いを改めて強く持った。大規模バイオマスではなく、集落単位で給湯パイプラインを整備するモデル事業を検討するよう執行部に要望したい。 ② ドクターヘリは、岡山県では川崎医大を基地に運航されているが、瀬戸内海に程近い所に位置しているため、新見市や真庭市の6割～7割のエリアが鳥大病院の方が近く、岡山県側の救命率UPにも大きく貢献すると感じた。 <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地への移住定住を促すには、雇用の確保が最大のポイントだと考える。その点、岡山県では西粟倉村で民間と組んで展開している起業家支援事業が成果を挙げており、ぜひ本県でも参考にすべきと感じた。 ③ 高齢化に直面する中山間地域の課題のひとつに、公共交通機関の維持がある。持続可能な在り方調査について、今後も力を入れて欲しい。 |
| 関連領収書番号 | 8011 9013 |

「鳥取・岡山県境議員連盟」総会 次第

日時：平成29年8月29日（火）
15:00～17:00
場所：津山国際ホテル 2階 鶴山の間

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 役員の改選について
 - (2) 平成28年度事業報告及び収支決算について
 - (3) 平成29年度事業計画及び収支予算について
 - (4) その他

4 意見交換会

- (1) スイス視察結果報告
〔説明〕 岡山県議会議員 河野 慶治

(2) ドクターへの運用について

- 〔説明〕
- ・鳥取県 福祉保健部 医療政策課 課長 中川善博
 - ・岡山県 保健福祉部 医療推進課 課長 則安俊昭

(3) 移住・定住促進について

- 〔説明〕
- ・鳥取県 元気づくり総本部 とっとり暮らし支援課 課長 齋尾安広
 - ・岡山県 県民生活部 中山間・地域振興課 課長 大森利弘

5 その他

6 副会長あいさつ

7 閉 会

鳥取・岡山県境議員連盟 総会・意見交換会 出席者名簿

■ 会員

| 県名 | 選挙区 | 議員氏名 | 役職 | 備考 |
|-----|-------------|--------|------|-------|
| 鳥取県 | 鳥取市 | 前田 八穂彦 | | 懇親会欠席 |
| | | 福浜 隆宏 | | 懇親会欠席 |
| | 八頭郡 | 福田 俊史 | 会計幹事 | |
| | | 西川 憲雄 | | |
| | 倉吉市 | 長谷川 稔 | | |
| | | 藤井 一博 | | |
| 日野郡 | 内田 博長 | 副会長 | | |
| 岡山県 | 津山市・苫田郡・勝田郡 | 井元 乾一郎 | 会長 | |
| | | 山本 雅彦 | | |
| | 新見市 | 花房 尚 | | 懇親会欠席 |
| | | 小林 義明 | 会計幹事 | |
| | 真庭市・真庭郡 | 河野 慶治 | | |
| | | 市村 仁 | 幹事 | |
| | 美作市・英田郡 | | | |

■ 執行部

| 県名 | 所属 | 職名 | 氏名 |
|-----|------------------------|------|-------|
| 鳥取県 | 元気づくり総本部 とっとり暮らし支援課 | 課長 | 齋尾 安広 |
| | 福祉保健部医療政策課 | 課長 | 中川 善博 |
| 岡山県 | 県民生活部 中山間・地域振興課 | 課長 | 大森 利弘 |
| | | 総括参事 | 中村 賢三 |
| | 保健福祉部医療推進課 | 課長 | 則安 俊昭 |

■ 事務局

| 県名 | 所属 | 職名 | 氏名 |
|-----|------------|--------|-------|
| 鳥取県 | 議会事務局調査課 | 課長補佐 | 尾崎 正高 |
| | | 係長 | 小泉 勝一 |
| 岡山県 | 議会事務局政務調査室 | 室長代理 | 古好 正徳 |
| | | 政務調査主幹 | 藤原 隆昭 |

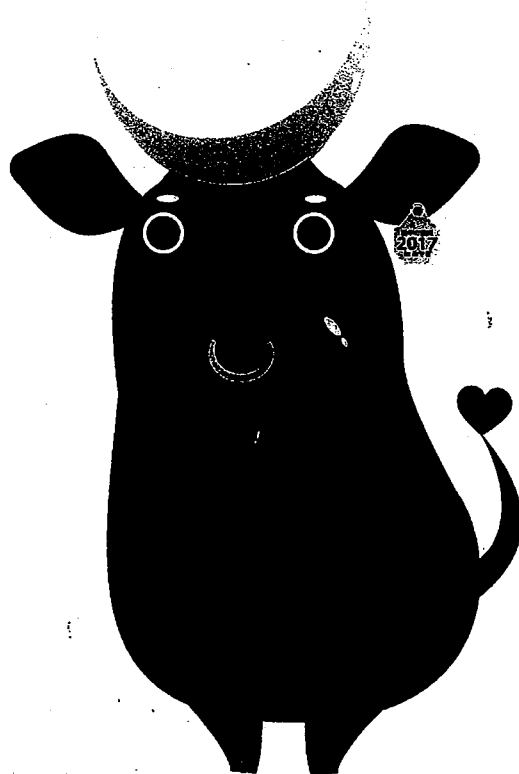
政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 全国和牛能力共進会宮城大会視察 |
| 活動年月日 | 平成29年9月9日(土)10日(日) |
| 場 所 | 宮城県仙台市「夢メッセみやぎ」 |
| 活動の相手方 | 小谷茂氏ほか本県の畜産関係者 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県が力を注いできた「和牛王国復活」に向け、名実共に全国で高い評価を得られるかどうか？5年に一度の全共会場を視察し、関係者と審査を見守る。 ・合わせて宮城県入りしている複数の畜産関係者から直接話を伺い、今後の本県畜産振興に必要な県施策について調査するため。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日「第4区系統雌牛群」で、大山町の小谷茂さん、伯耆町の渡辺貞男さんと宮崎浩樹さん、県立農業大学の出品牛が「全国第4位」と幸先良い出足。 ・2日目「第2区若雌1」では日南町の西村利史さんの出品牛が「全国9位」。 ・「第3区若雌2」では倉吉の大森智司さんの出品牛が最終選考に残り「全国8位」。 ・「第5区繁殖雌牛群」では、体高が規定オーバーと判断されるものの全国8位。しかも特別賞「乳徴賞」を獲得し、質の高さを大いに証明した。 ・続く「第6区高等登録群」でも、体高オーバーと判定されたが全国7位。 ・そして最も注目を集める「第7区総合評価群」では「全国5位」。日本一を獲得した「肉牛群部門」を合わせた総合成績は、宮崎に次いで「全国2位」に輝いた。 <p>【結果(成果)等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合で首席を獲れず残念ではあったが、年間出荷頭数を比較すれば、鹿児島や宮崎の20～30分の1という鳥取県の代表牛が、肉質日本一、種牛5位を獲得したのはまさに快挙であり、畜産試験場のゲノム解析と遺伝子交配、そして畜産関係者の長年のたゆまぬ努力が実ったといえる。 ・次代を担う農業大学の学生も参加していて、見事「第4区」で4席を獲得。初日終了後に開催された激励会で話を伺うと「大舞台で緊張したが、責任を果たせてほっとしている。将来も畜産に関わりたい」と頼もしい言葉も聞かれた。 ・ぜひ本県としては「肉質日本一!」「和牛王国復活」を大々的にアピールして、県内の飲食店舗と共同で「食による観光インバウンド」を益々強化して欲しい。 ・審査会場で気づいたことは、和牛王国の「鹿児島」「宮崎」の応援団の人数が他県を圧倒的に凌駕。揃いのTシャツに身を包み大声援を送っていた。まさに5年に一度の全共に賭ける意気込みがヒシヒシと伝わり本県の参考にもなった。 ・持ち手による調教は岡山県が群を抜いていたように映った。聞けばその岡山の関係者に、本県の持ち手が講習を受けるなどお世話になったという。立ち姿が審査に反映されるということで、今後はその面でもレベルアップが必要といえる。 ・白鳳85の3の登場により「和牛王国復活」に向け大きな一歩を踏み出したが、種付可能期間は10年ということで、次代の種牛育成に対する施策を要望する。 |
| 関連領収書番号 | 9001 9002 9003 9004 9005 |

第11回全国和牛能力共進会

～高めよう生産力 伝えよう和牛力 明日へつなぐ和牛生産～

出品牛目録



主催 公益社団法人 全国和牛登録協会

会期 平成28年6月24日(金)～平成29年9月11日(月)

【最終比較審査】

会期 平成29年9月7日(木)～9月11日(月)

種牛の部 夢メッセみやぎ (宮城県仙台市) 種牛330頭

肉牛の部 仙台市中央卸売市場食肉市場 (宮城県仙台市) 肉牛183頭

後援 農林水産省 参加道府県 公益財団法人全国競馬・畜産振興会

全国農業協同組合連合会 独立行政法人農畜産業振興機構

一般社団法人全国肉用牛振興基金協会 畜産関係団体会社

第11回全国和牛能力共進会宮城県実行委員会

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 教育ITセミナー受講と教育ITエキスポ出展ブース視察 |
| 活動年月日 | 平成29年11月15日(水)～16日(木) |
| 場所 | インテックス大阪 |
| 活動の相手方 | ① 国立教育政策研究所 文教施設研究 センター長 磯山 武司 氏 ② 灘中学・灘高校 学校長 和田 孫博 氏 ③ 東京大学先端科学技術センター 特任准教授 高橋 智隆 氏 ④ 大阪府箕面市 市長 倉田 哲郎 氏 ⑤ 岡山大学 大学院教育学科 教授 寺澤 孝文 氏 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>・文部科学省では、新学習指導要領の柱のひとつに学校教育におけるIT活用の推進とアクティブラーニングを掲げている。その流れの中で、教育現場やIT研究者、自治体の首長等が考える方向性を聴き、本県施策への提言とするため。</p> <p>【内容】</p> <p>① AI・ロボット化が進む社会に必要な人材を育成するには、従来型の教室で創造性や協調性が育まれるのか疑問。北欧では、教師のための教室ではなく、子どもファーストで「共用」「集中」「主体性」を高める教室環境を実践。</p> <p>② 日本の未来に必要な人材とは「真」のグローバリスト。「異文化とのコミュニケーション力」と「自国文化への憧憬」「未知の課題を克服する力」の3点が必要。灘では暗記を問うテストから脱却し予習や調べ学習を強化。生徒同士の対話では学びが深まらないので、生徒対教員の対話を重要。教員個々の質向上が不可決。</p> <p>③ 従来は“役に立つものを作る”発想だったが、今後は“作ったら何かの役に立つ”という遊び心が必要。迷ったら“ユニークな方を選ぶ”方が、独自性が際立つ。教育は体系的なカリキュラムより熱中。気づいたら多くを学んでいる。</p> <p>④ 箕面市では東京書籍との共同研究事業で、個々の学力の経年変化をグラフ化。一人ひとりの習熟度をデータで捉えられるのと経年変化により担任教諭の指導力の差が如実に明らかになるため、教員の質向上に非常に有効。</p> <p>⑤ 低学力層の学力を向上させる新たな手法「マイクロステップ法」を考案。岡山県で通信教育大手ベネッセと共同調査した結果、同手法を取り入れた小学校では低学力層の学力が県平均を上回り成果を実証。</p> <p>【結果(成果)等】</p> <p>① 建て替え期を迎える本県の学校施設には、極めて参考になる情報。</p> <p>② 教員の質向上の必要性が益々高まっていることが実感できた。</p> <p>③ 今後の社会が必要とする人材育成には不可欠な視点で、非常に興味を持てた。</p> <p>④ 本県でもビッグデータの利活用について、もっと調査研究を進めるべきと痛感。</p> <p>⑤ 「マイクロステップ法」について、改めて岡山大学を訪ね、理解を深めたい。</p> <p>以上、非常に示唆に富んだ内容で、本県の教育方針や施策に反映すべき内容だった。今後の一般質問等に生かし、是が非でも反映させたい。</p> |
| 関連領収書番号 | 1107 1108 1109 |

教育ITソリューションEXPO2017

会期：2017年11月15日(水)～17日(金)

開催地：セミナー会場 インテックス大阪 1号館、2号館

主催：リード エグジビション ジャパン (株)

受講セミナー (15日、16日の2日間)

| | | | | |
|-----|-----|--------|--------------------|--------|
| 15日 | FS1 | 12:20～ | 国立教育政策研究所 センター長 | 磯山 武司氏 |
| | S1 | 14:10～ | 灘中学高等学校 校長 | 和田 孫博氏 |
| | MS1 | 16:00～ | 東京大学先端科学技術研究センター | 高橋 智隆氏 |
| 16日 | K2 | 10:00～ | 箕面市役所 市長 | 倉田 哲郎氏 |
| | M2 | 11:00～ | (途中から) 岡山大学大学院教育学科 | 寺澤 孝文氏 |

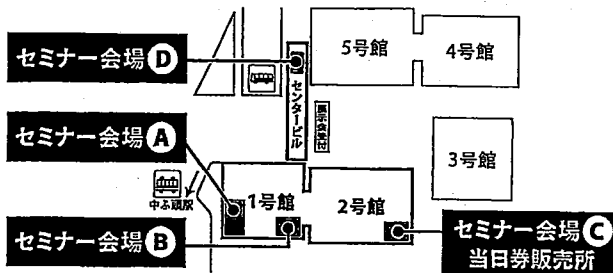
教育ITソリューションEXPO EDX 前編
学校設備・サービス展
 会期：2017年11月15日(水)～17日(金)
 主催：リード エグジビション ジャパン (株)

300社が出展！教育分野 西日本最大の専門展



◆講演会場のご案内◆

講演会場はインテックス大阪 1-2号館内もしくはセンタービル内にAからDまで、全部で4会場ございます。受講される講演会場の場所をご確認の上、ご来場ください。



(注意ください)

※セミナー会場A・B・Cは、関西 教育ITソリューションEXPO/関西 学校設備・サービス展 展示会場の中にございます。
 ※セミナー受付前には、展示会の来場登録が必要となりますので、[展示会受付]にて来場者登録をお済ませください。
 ※[講演会場]には展示会受付が実施いたしますので、[展示会受付]にて来場者登録をお済ませください。
 ※上記に記載されていない講演(出展社による教育・サービス無料公開セミナー等)に関しては、「会場案内図」で場所をご確認ください。
 ※都合により日時、プログラムの内容が変更になる場合がございます。
 ※予金入(領収書)のないセミナーもございます。
 ※セミナーの録音、写真、動画撮影などは一切禁止させていただきます。

教育ITソリューションEXPO 学校設備・サービス展 学びNEXT

セミナー会場一覽

※セミナー会場は1、2号館内もしくはセンタービル内に4会場ございます。お間違いないよう、お気を付けてください。

11月15日(水)開催の講演

| | | |
|------|---------------------------------|---------------|
| K1 | 筑波大学 校長/理事長 榎本 正樹 | セミナー会場① (1号館) |
| ED1 | 大阪府教育庁 特別支援課長 小寺 隆志 | セミナー会場① (1号館) |
| ED13 | (株)メディアオー・プラス 代表取締役 岡田 正彦 | セミナー会場② (2号館) |
| FS1 | 国立教育政策研究所 文部政策研究センター長 磯山 武司 | セミナー会場① (1号館) |
| ED2 | 山口大学教育学部 特別支援教育実践センター 部長 小林 英樹 | セミナー会場① (1号館) |
| M1 | 奈良県教育委員会 学校課長 佐藤 孝典 | セミナー会場② (2号館) |
| S1 | 滋賀県立高等学校 校長 岩田 昌博 | セミナー会場① (1号館) |
| EL1 | 楽天(株) 新サービス開発カンパニー 教育事業部長 吉岡 洋一 | セミナー会場① (1号館) |
| ED7 | 大阪府立大学 副学長(教育・人材担当) 藤井 隆太郎 | セミナー会場② (2号館) |
| MS1 | 筑波大学 先端科学技術研究センター 特任教授 高橋 智隆 | セミナー会場① (1号館) |
| F1 | 筑波大学 アカデミック・サービス 学長 岡田 正彦 | セミナー会場① (1号館) |
| ED8 | 関西大学 総合企画課 課長 奥島 美津子 | セミナー会場② (2号館) |

11月16日(木)開催の講演

| | | |
|------|--------------------------------------|---------------|
| K2 | 大阪府教育庁 部長 岩田 昌博 | セミナー会場① (1号館) |
| M2 | 岡山大学 大学院教育学部 教授 寺澤 孝文 | セミナー会場② (2号館) |
| MS2 | 奈良県立高等学校 コンテンツ制作課 課長/人工知能学会 会長 山根 謙二 | セミナー会場① (1号館) |
| EL2 | (株)日食教育 代表取締役 藤原 隆志 | セミナー会場① (1号館) |
| ED3 | 筑波大学 先端科学技術研究センター 特任教授 高橋 智隆 | セミナー会場② (2号館) |
| S2 | 奈良県 情報通信行政課 情報政策課長 佐藤 孝典 | セミナー会場① (1号館) |
| F2 | 関西大学 学務部 学務課長 藤井 隆太郎 | セミナー会場① (1号館) |
| ED9 | お茶の水女子大学 入試課長 藤原 隆志 | セミナー会場② (2号館) |
| S3 | 近畿大学 校長 藤原 隆志 | セミナー会場① (1号館) |
| ED10 | 九州大学 教務課 課長 一ノ瀬 大 | セミナー会場① (1号館) |
| ED4 | 関西大学 学務部 学務課長 藤井 隆太郎 | セミナー会場② (2号館) |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 低学力層の児童生徒の意欲・学力を向上させる研究に関する調査 |
| 活動年月日 | 平成30年1月10日(水) |
| 場所 | 岡山大学大学院教育学研究科 寺澤ゼミ |
| 活動の相手方 | 寺澤 孝文教授 |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的に学力の低い児童生徒は、一斉授業の内容が理解出来ないケースが多く、「学ぶ」事に対する意欲・やる気が減衰している現状がある。 ・この課題に対し、脳科学の知見も取り入れ、ビッグデータを基盤とした新たなEラーニング「マイクロステップ法」を寺澤教授が考案。その内容を調査するため。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精度の高いビッグデータ集積と解析により、知識の習得について個人差に応じた反復学習やテストを行うシステムとスケジュールが組めるようになった。 ・スケジュールに沿って実施した学習成果を学習者一人ひとりにグラフとして可視化してフィードバックすると、低学力層の児童生徒でも「自分でも出来る」という手応えと「やれば出来るようになる」「続けよう」という意欲が向上する。 ・スケジュールの設定次第では、各年代で必要な知識量を効率的に習得可能となり、創造力やコミュニケーション力UPに使える時間を増やす事にも繋がる。 ・岡山県赤磐市内の小中学校や徳島県内の2つの県立高校が同手法を導入。 ・通信教育大手の「ベネッセ」も注目し、県の学力テスト結果をまとめたところ、同手法を取り入れた学校の低学力層では、導入前は県平均を8～12%下回っていたが、導入1年半後は県平均を上回り、一定の成果があることを証明した。 <p>【結果(成果)等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学力層を含めた児童生徒の「意欲」を数値化しグラフで可視化するのは、一斉授業のマイナス面を補う要素を含んでいる点。またテストの点数のみで子どもも保護者も一喜一憂する現状に一石を投じる魅力を感じた。 ・習得(記憶)すべき知識の取り込み方について、科学的な知見を元に生み出された「マイクロステップ法」は、経験則や精神論で長年行われてきた学習スタイルと隔絶の感があるが、低学力層の底上げは長年克服出来ない大きな課題であり、新たな手法に本県としても挑戦する必要性を感じた。 ・また第4次産業革命に入った今後の社会が求める人材は、コンピュータが代替可能な知識量ではなく、創造性や協調性に富んだ人材という事を考えると、必要な知識を効率良く取り込める同手法は、時代にマッチしているとも言える。 ・一方、ソフト面では「教育現場の新しいものに対する抵抗感」。 <p>ハード面では「タブレット端末が1人1台必要」という2つの課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文科省も教育でのICT化推進を新学習指導要領の柱のひとつにあげており、本県でも児童生徒が使えるコンピュータ台数が全国2位の普及率であることからこの手法の導入について積極的に調査研究するよう県教委に働きかけたい。 |
| 関連領収書番号 | 0101 0102 |

政務活動報告書

| | |
|---------------|--|
| 活動事項 | 林業・林産業に関する調査研究 和歌山県・三重県 |
| 活動年月日 | 平成30年3月27日(火)～29日(木) |
| 場 所 | ① 和歌山県森林組合連合会 御坊共販所 ② 和歌山県日高川町 きのくに中津荘 ③ 和歌山県林業試験場 ④ 三重県伊勢庁舎 |
| 活動の相手方 | ① (株)バイオマス・プロダクツ 代表取締役 篠宮 健氏ほか ② 和歌山県日高川町企画政策課 定住促進室長 西 晃人氏ほか ③ 和歌山県林業試験場 木材利用部 部長 井戸 聖富氏ほか ④ 伊勢農林水産事務所 林業振興課 課長 杉野 成生氏ほか |
| 目的・内容 ・結果等 | <p>【目的】</p> <p>① 「木質パウダー化」の製造工程や利活用の実態等について調査。 ② 「木質パウダーボイラー」の現地調査と日高川町の取り組みを調査。 ③ ビニールハウスを活用した「太陽熱木材乾燥」について調査。 ④ 三重県が進める「低コスト造林」について現状と課題を調査。</p> <p>【内容】</p> <p>① 木質パウダー化は和歌山大学等との共同研究で平成20年開始の全国初の事業。 ・民間企業も参入し技術開発が進み、燃料製造装置やボイラーも地元で開発。 ・御坊共販所では年間4,000 m³の原木をパウダー化。1時間200kg、1日1.6t製造。 ② 日高川町内では6つの温泉施設で9基の木質パウダー式ボイラーが稼働中。 ・化石燃料と同等の発熱量を得るには重量比で2倍のパウダーが必要なため、日高川町ではパウダー取引単価をキロ当たり46円(灯油の約半分)に設定。 ③ 農業用ビニールハウスを活用することで乾燥期間が4～6割短縮。 ・除湿機との併用でさらに短縮可能。色つやも保持され、ひび割れも微少。 ④ 苗木代や間伐労務等を減らすため1ha4,000本を2,000本へ低密度植栽を推奨。 ・高級材が減る一方、育成コストや人件費縮減で採算性は上がる。</p> <p>【結果(成果)等】</p> <p>① 製造工程で乾燥率10%以下になるため、木材乾燥が不要でコスト縮減される点。 ・チップやペレットと比較して発熱量が高い点。着火と消火の制御が容易な点。 大半が燃え尽きるため灰量1%と残処理が容易な点が特に注目された。 ② 日高川町では山地残材が年間750t発生。その有効活用策としてパウダー化導入。 ・輸送単価アップを考慮して供給範囲を50km圏内限定という点にも注目した。 ③ まだ市場評価は低いようだが、数値から「効果は高い」との説明に納得できた。 ・山陰地方は雪が多く、導入するには特に山間部ではハウス雪害の考慮が必要。 ④ 林業の未来を考えた場合、植林の低密度化は検討に値すると判断した。</p> <p>以上、調査で得た成果について県政への提言や一般質問にぜひ生かしたいと思う。</p> |
| 関連領収書番号 | 0318 0329 0330 |

平成29年度林活議連県外調査項目(和歌山県・三重県)

| 日時 | 調査内容 | 担当窓口 |
|---------------------------------------|--|--|
| 3/27(火) 14:20-15:20 15:50-16:50 | <p>【木質パウダー燃料燃焼ボイラー】</p> <p>和歌山県日高川町では、和歌山県森林組合連合会御坊事業所が同事業所から発生するパークやおがけ町内森林から発生した林地残材などを原材料に木質パウダー燃料を製造し、町内の温泉施設(3か所)において、重油等の代替燃料として活用し、地域内完結型の木質バイオマスによる地産地消に取り組んでいる。 木質パウダーを燃料として活用する事例は全国でも初めて。</p> <p>今回の調査では、和歌山県森林組合連合会御坊事業所及びボイラー設置施設(きのくに中津荘)を訪問する。</p> | <p>T649-1324 和歌山県日高郡日高川町大字土生160番地 TEL 0738-23-9511 FAX 0738-22-1767 メール: [REDACTED] 日高川町役場 企画政策課 定住促進室長 西 晃史</p> <p>きのくに中津荘(指定管理者) 責任者 藤井 0738-54-0082</p> |
| 3/28(水) 10:30-11:30 | <p>【広葉樹材の太陽熱利用木材乾燥】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業用ビニールハウスを活用し、低コストの簡易な木材乾燥システムを開発 ・除湿機の併用により乾燥期間をさらに短縮し、板材の含水率15%以下にも対応可能 ・本システムの乾燥材は、紀州材本来の色つやを保持 | <p>和歌山県 林業試験場 木材利用部 部長 井戸 聖富 〒649-2103 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬1504-1 TEL:0739-47-2468 FAX:0739-47-4116 メール: [REDACTED]</p> |
| 3/28(水) 16:00-17:00 | <p>【低コスト造林事業】</p> <p>三重県では昔から、良質な柱材を作るために4000本/ha以上の密植を行うところが多く、現在でもその傾向は変わらないが、近年は高級柱材だけでなく集成材や合板用の並材の需要が高まっているほか、各地で木質バイオマス発電所が稼働しており、高級柱材以上に並材が需要の中心となっている。この市場の変化に対応した林業を営むためには、コストをかけて良質な柱材を生産する今までの育林体系だけでなく、コストを抑えて並材を生産する育林体系も平行して進めていく必要がある。 コストを抑える方法の一つとして、従来よりも少ない本数を植栽する「低密度植栽」が近年注目されており、全国的に、1000~2000本/haが「低密度植栽」と言われることが多い。 三重県もこの低密度植栽を普及させるため、H27年度より新規事業として「低コスト造林推進事業」を立ち上げ、低密度植栽のモデル的な取組を推進している。</p> | <p>三重県伊勢農林水産事務所 森林・林業室 林業振興課 森 真高 TEL 0596-27-5265 FAX 0596-27-5327 E-mail: [REDACTED]</p> |

旅 程 表

団体名: 鳥取県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟(倉吉・鳥取発) 様

(はる身体社)

【代表者名】 内田(博) 会長 様

ご旅行先 和歌山・三重 方面 《2泊3日》 12 名様

※ おみやげは①②③の5種以上

TEL
FAX
携帯

旅行期間 平成30年3月27日(火)~平成30年3月29日(木)
(旅館・ホテル2泊、船・車中泊) バス車種 中型バス

作成者:
作成日: 平成30年3月22日

| 日 | 期日(曜) | 行 程 | 備考(宿泊地等) |
|---|---------|---|--|
| 1 | 3/27(火) | <p>8:12発(Sはくと4号) 倉吉駅 乗車 7:54発 普通列車 青谷駅 乗車 8:51発 8:53発 鳥取駅 乗車 9:21発 智頭駅 乗車 11:24着 新大阪駅 乗車</p> <p>11:30着 12:00発 昼食(新大阪駅構内) 乗車 12:15発 くらしお11号 新大阪駅 乗車 13:58着 14:00発 借上車両 御坊駅 乗車</p> <p>14:20着 15:20発 借上車両 和歌山県森林組合連合会 御坊共販所 乗車 15:50着 16:50発 借上車両 きのくに中津荘(木質パウダー燃料ボイラー) 乗車</p> <p>18:00着 20:00発 夕食 ④日高川町役場 西晃史も同席</p> <p>夕食:各自(新大阪駅構内にて) 夕食:きのくに中津荘(0738-54-0082)</p> | <p>きのくに中津荘 (和歌山県日高郡日高川町高津尾1049番地) 0738-54-0082</p> |
| 2 | 3/28(水) | <p>8:30発 借上車両 きのくに中津荘 乗車 9:10着 9:30発 くらしお1号 御坊駅 乗車 10:09着 10:10発 借上車両 白浜駅 乗車</p> <p>10:30着 11:30発 借上車両 和歌山県林業試験場(太陽熱木材乾燥) 乗車 12:10着 12:50発 借上車両 昼食(古道歩きの里ちかつゆ) 乗車</p> <p>16:00着 17:00発 借上車両 三重県伊勢庁舎(低コスト造林事業) 乗車 17:45着 ルートイン松阪駅東 乗車 18:45着 20:45発 夕食</p> <p>夕食:古道歩きの里ちかつゆ(0739-65-0707) 和歌山県田辺市中辺路町近露 1810-1 ※林業試験場出発時に到着予定時刻のTEL必要 夕食:味工房 原宿(0598-23-6153) 三重県松阪市外五曲町86-2</p> | <p>ルートイン松阪駅東 (松阪市京町1区35-2) 0598-50-3900</p> |
| 3 | 3/29(木) | <p>9:30出発 ルートイン松阪駅東 乗車 11:02発 近鉄山田線特急 松阪駅 乗車 12:26着 鶴橋駅 乗車 12:40着 13:40発 昼食(鶴橋駅周辺) 乗車</p> <p>14:31発 環状線内回り 鶴橋駅 乗車 14:46着 15:24発 Sはくと9号 大阪駅 乗車 17:23着 智頭駅 乗車</p> <p>17:52着 18:42発 まつかけ11号 鳥取駅(青谷行普通列車は17:54発) 乗車 18:40着 青谷駅 乗車 19:12着 倉吉駅 乗車</p> <p>夕食:各自(鶴橋駅付近にて)</p> | |